

ボーリング柱状図

調査名 令和元年度鹿児島港（谷山二区）係留施設土質調査

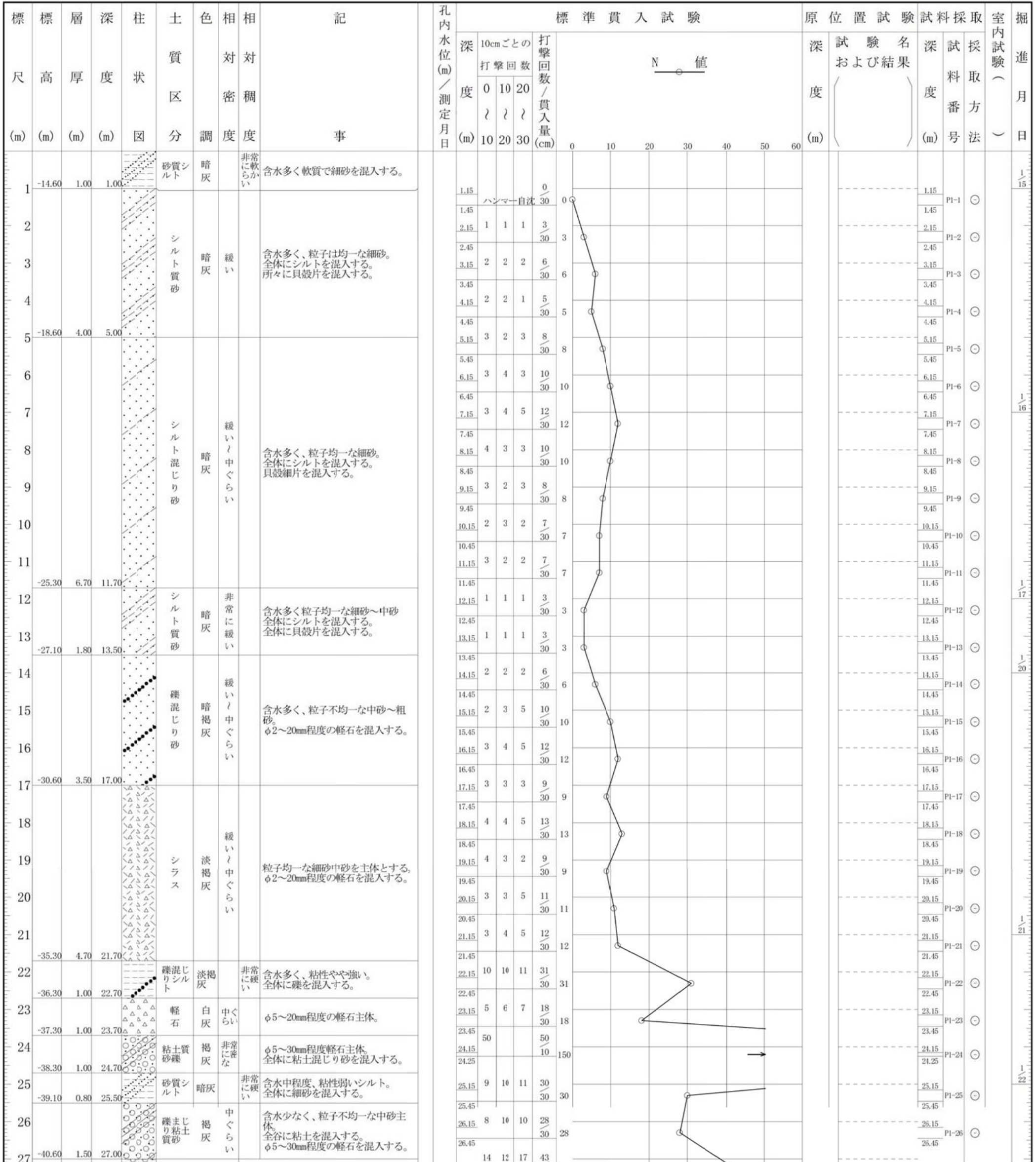
ボーリングNo 4

事業・工事名 令和元年度鹿児島港（谷山二区）係留施設土質調査

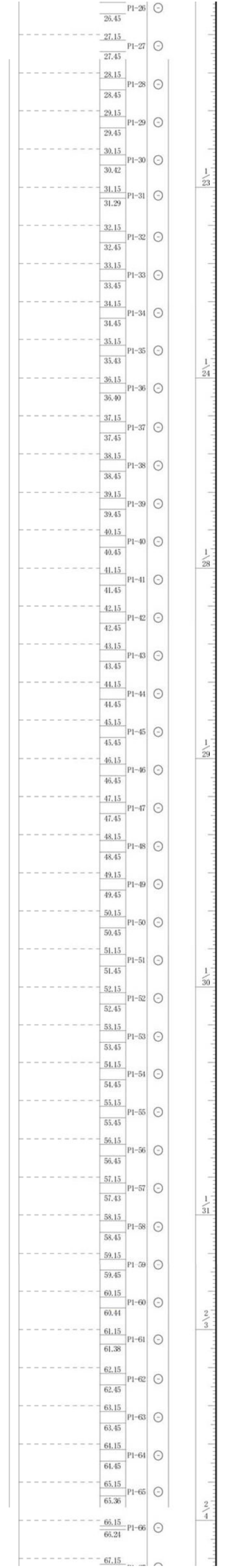
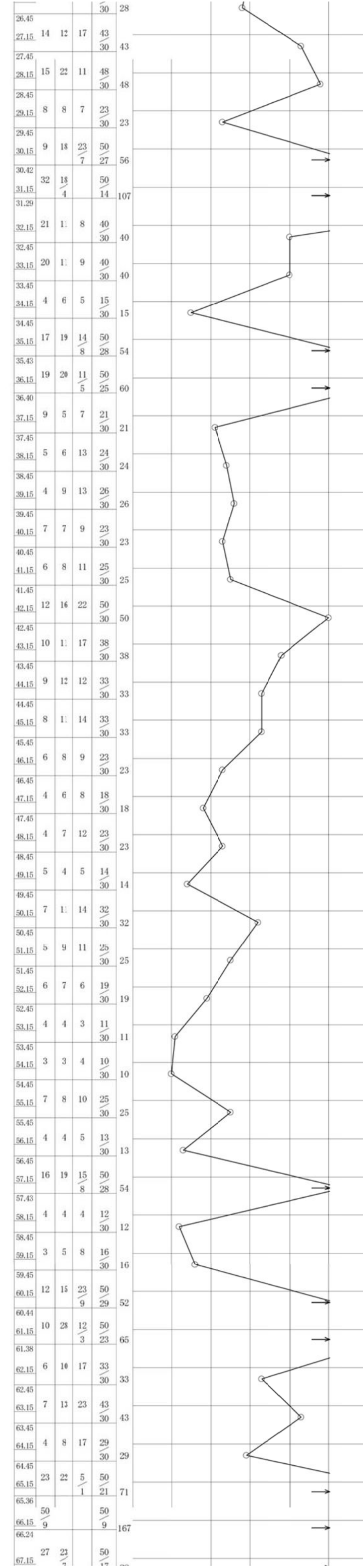
シートNo 1

ボーリング名	No. 1	調査位置	鹿児島港谷山二区	北緯	31° 28' 16.4152"
発注機関	九州地方整備局 鹿児島港湾・空港整備事務所	調査期間	令和 2 年 1月 14日 ~ 2年 2月 6日	東経	130° 31' 33.5397"

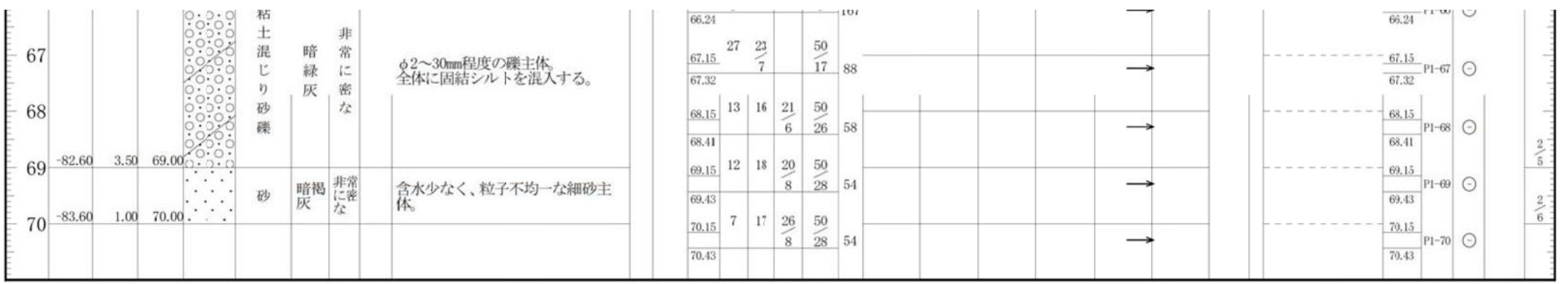
孔口標高	DL -13.60m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 270° 西 180° 東 90° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	東邦 D1-B48-S1	ハンマー落下用具	半自動落下
総掘進長	70.00m	度	0°	向				エンジン	ヤンマー TF120M	ポンプ	東邦 BG-3B



27	-40.60	1.50	27.00	粘土質砂	灰	らい	全谷に粘土を混入する。 φ5~30mm程度の軽石を混入する。	
28	-42.20	1.60	28.60	粘土まじり砂礫	褐灰	密な	含水少なく、φ5~30mm程度の軽石主体。 全体に粘土混じり砂を混入する。	
29	-43.70	1.50	30.10	軽石まじり砂	褐灰	中ぐらい	粒子均一な中砂主体。 全体に軽石を混入する。	
30	-49.60	5.90	36.00	粘土まじり砂礫	暗褐灰	中ぐらい	φ5~30mm程度の礫を主体とする。 全体に粘土質砂を混入し、半固結状である。	
31	-50.80	1.20	37.20	砂礫	褐灰	非常に密な	含水少なく、φ5~30mm程度の礫主体。 全体に粘土質砂を含み、半固結状である。	
32	-55.60	4.80	42.00	軽石混り砂	褐灰	中ぐらい	含水少なく、粒子不均一な中砂~粗砂。 全体に軽石を混入する。	
33	-60.10	4.50	46.50	軽石混じり砂	灰褐	中ぐらい	密な	含水少なく、粒子均一な細砂~中砂。 全体にシルトを混入し、半固結状である。
34	-63.40	3.30	49.80	軽石	白灰	中ぐらい	φ20~50mm程度の軽石主体。	
35	-65.60	2.20	52.00	軽石混り砂	褐灰	中ぐらい	含水少なく、粒子均一なシルト質砂主体。 φ5~40mm程度の軽石を混入する。	
36	-70.60	5.00	57.00	軽石	白灰	中ぐらい	φ5~50mm程度の軽石主体。 全体にシルト質砂を混入する。	
37	-75.60	5.00	62.00	軽石混じり砂	暗灰	中ぐらい	非常に密な	φ5~30mm程度の軽石を主体とする。 全体に半固結状であり硬質である。
38	-78.30	2.70	64.70	砂質シルト	暗灰	硬い	非常に硬い	含水少なく硬質なシルト。 全体に細砂を混入する。 半固結状を呈する。
39	-79.10	0.80	65.50	礫混じり砂質シルト	暗灰	非常に硬い	含水少なく半固結状を呈する。 φ2~20mm程度の礫を混入する。	
40				粘土混	暗	非常	φ2~30mm程度の礫主体	



1/23
1/24
1/28
1/29
1/30
1/31
2/3
2/4



ボーリング柱状図

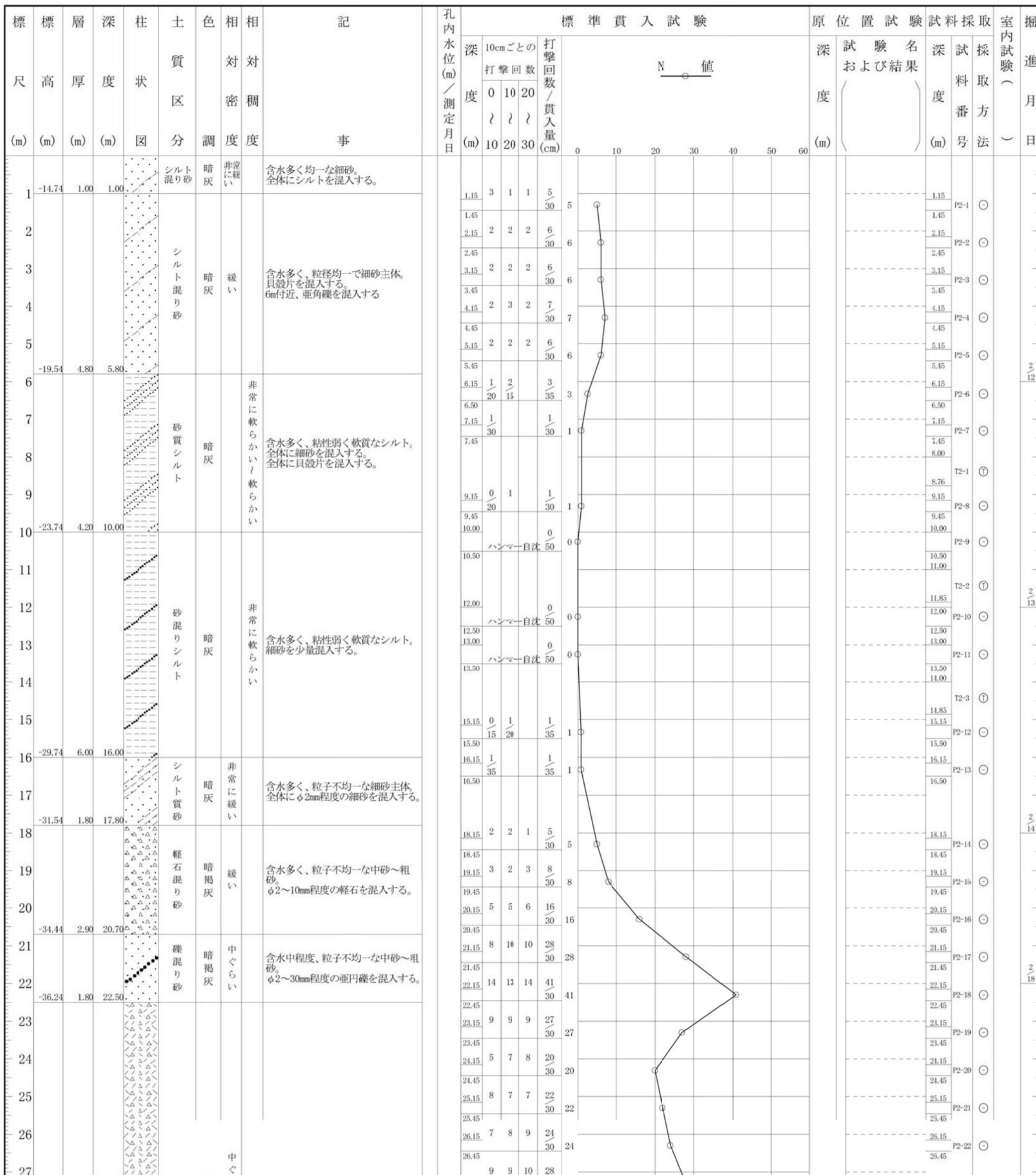
調査名 令和元年度鹿児島港（谷山二区）係留施設土質調査

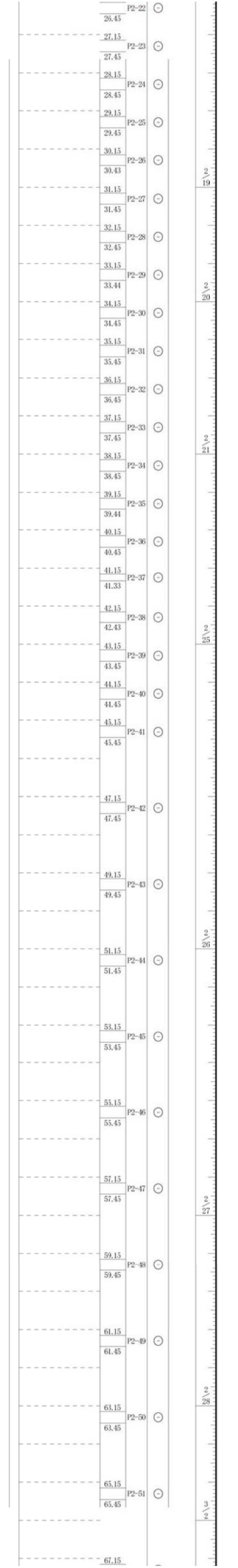
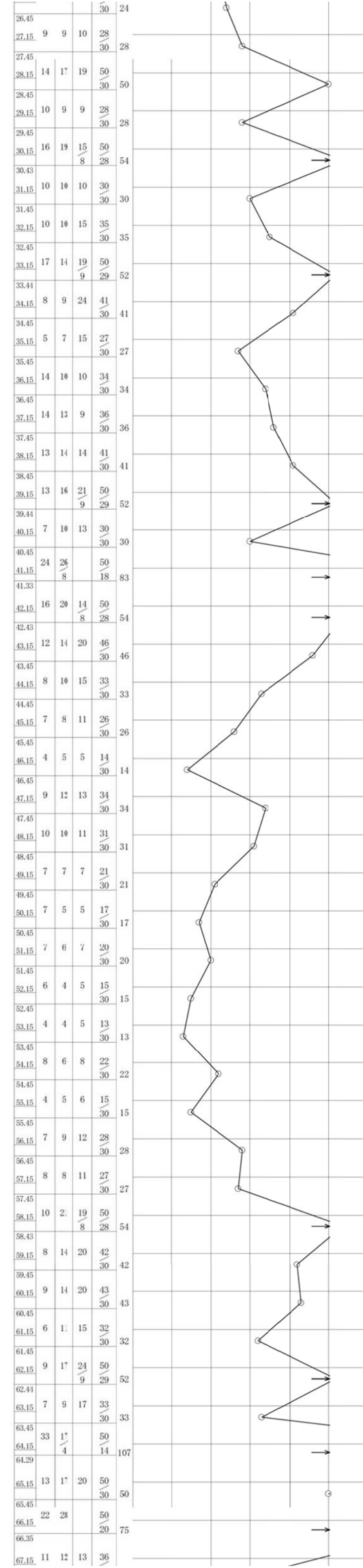
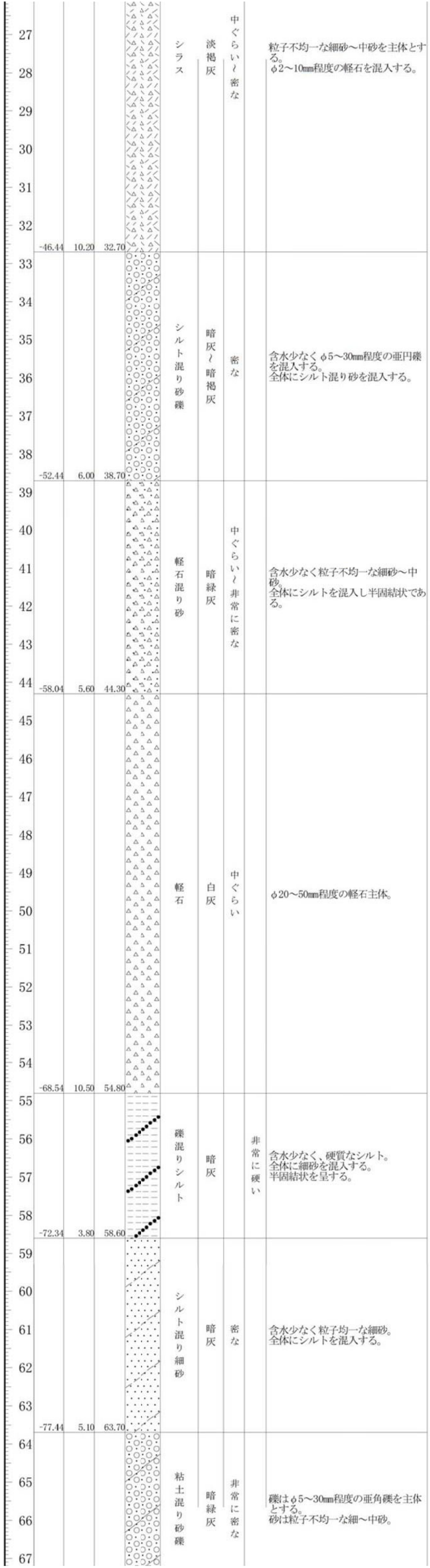
ボーリングNo 4

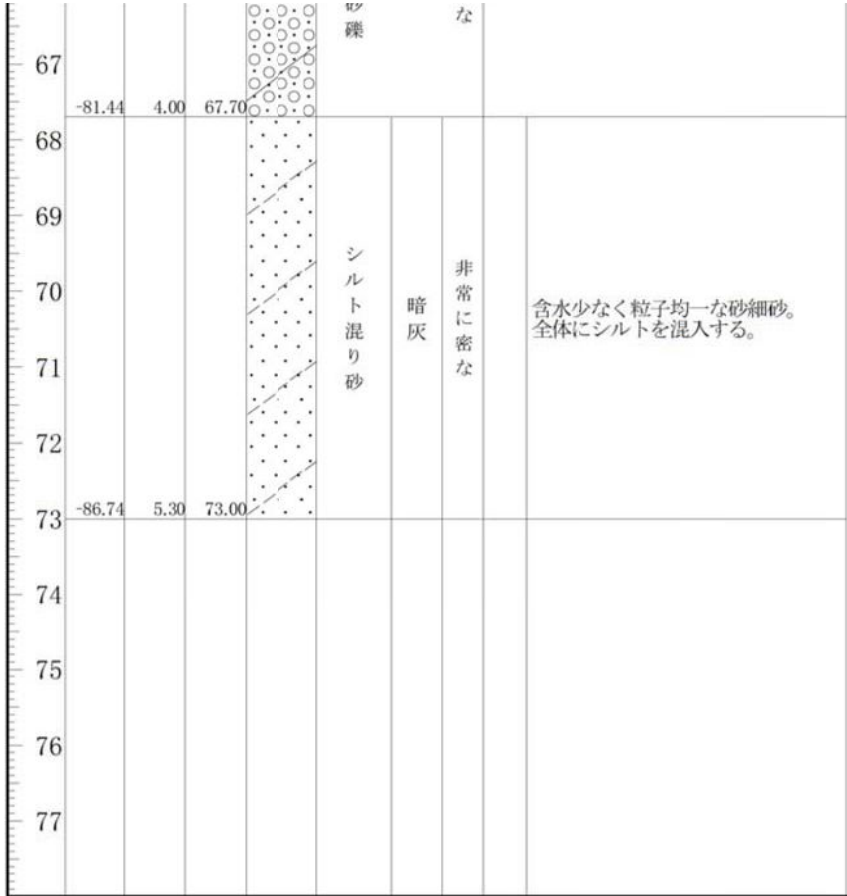
事業・工事名 令和元年度鹿児島港（谷山二区）係留施設土質調査

シートNo 2

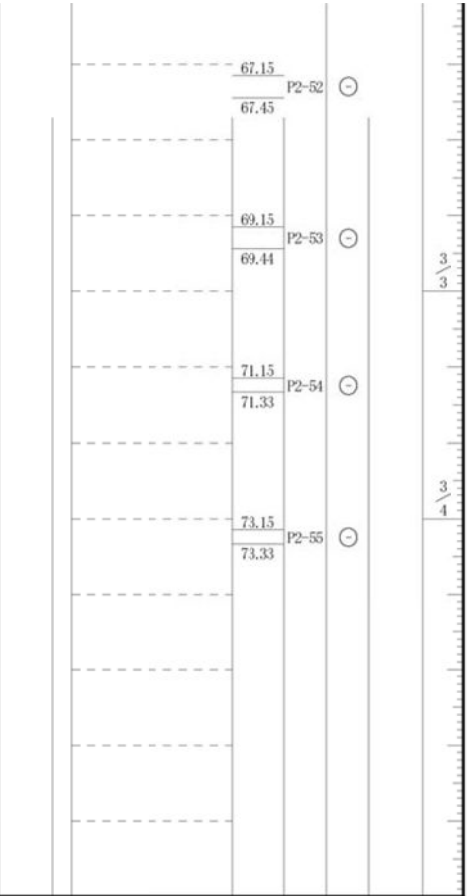
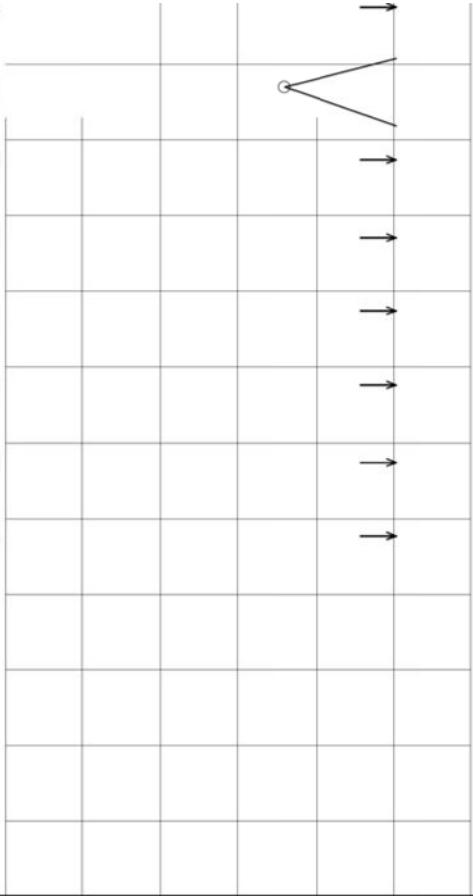
ボーリング名	No. 2	調査位置	鹿児島港谷山二区	北緯	31° 28' 17.9722"
発注機関	九州地方整備局 鹿児島港湾・空港整備事務所	調査期間	令和 2 年 2 月 9 日 ~ 2 年 3 月 4 日	東経	130° 31' 33.8420"
孔口標高	DL -13.74m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 270° 西 180° 東 90° 南
総掘進長	73.00m	度	0°	向	鉛直 90° 水平 0°
使用機種	東邦 D1-B48-S1	ハンマー落下用具	半自動落下	エンジン	ヤンマー TF120M
		ポンプ	東邦 BG-3B		







66.35			20	75
67.15	11	12	36	
			30	36
67.45				
68.15	11	26	13	50
			4	24
68.39				63
69.15	12	18	20	50
			9	29
69.44				52
70.15	18	28	4	50
			1	21
70.36				71
71.15	24	26	50	
			8	18
71.33				83
72.15	18	26	6	50
			2	22
72.37				68
73.15	26	24	50	
			7	17
73.32				88



ボーリング柱状図

調査名 令和元年度鹿児島港（谷山二区）係留施設土質調査

ボーリングNo 4

事業・工事名 令和元年度鹿児島港（谷山二区）係留施設土質調査

シートNo 3

ボーリング名	No. 3	調査位置	鹿児島港谷山二区	北緯	31° 28' 19.63565"
発注機関	九州地方整備局 鹿児島港湾・空港整備事務所	調査期間	令和 2 年 1 月 14 日 ~ 2 年 1 月 30 日	東経	130° 31' 33.95643"
孔口標高	DL -14.06m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 90° 東 270° 西 180° 南
総掘進長	77.00m	度	鉛直 90° 水平 0°	地盤勾配	
使用機種	東邦 D1-B	ハンマー	落下用具	半自動落下	
エンジン	ヤンマー NFD10	ポンプ	東邦 BG-3C		

